

2025 こども未来 ミーティングU18

【発行】
南相馬市こども家庭課
令和8年1月

南相馬市では、こどもたちの意見を施策に取り入れるため、令和5年度からこどもたちと市役所が直接対話する「こども未来ミーティングU18」を開催しています。令和7年度に開催したミーティングについてご報告します。

開催日時 令和7年10月5日(日)
13時15分～15時

開催場所 小高交流センター北3棟
(子育てサロン・交流スペース)

参加者

- こども参加者:19名
(小学生:4名、中学生:5名、高校生10名)
- 大人参加者:市長、副市長
聞き手:小高区役所長、小高区地域振興課、
こども未来部長、市議会議員他
- 全体ファシリテーター
南相馬市こども政策アドバイザー
前川 直哉氏(福島大学教育推進機構准教授)
- グループファシリテーター
一般社団法人あすびと福島、OWB株式会社
福島大学学生のみなさん

テーマ

10年後、私(たち)が住みたい小高区をデザインしよう

もし、自分たちが10年後、小高区に住むことになったとき、こんな「まち」だったら、住みたくなる！帰りたくなる！という意見や考えを、みんなで共有しました。

01 自己紹介タイム 小高区について説明

公益社団法人福島相双復興推進機構から小高区のまちづくりワークショップについて説明がありました。



公益社団法人
福島相双復興推進機構
広域まちづくりグループ長
かわごいし 皮籠石 なおゆき 直征さん

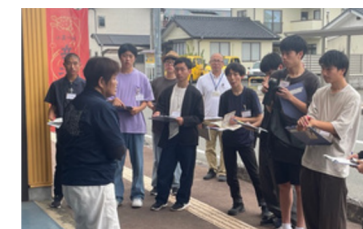
03 グループで住みたい小高区についての 意見や考えを共有

各グループのファシリテーターを中心に、自分の考えをふせんに書いて共有。



02 フィールドワーク みんなで小高区をまちあるき

小高区のまちを実際に歩きながら市から説明。まちの方にもお話を聞き、積極的にインタビューもしていました。



04 意見や考えを発表し、全体で共有

意見や考えをグループごとに発表し、全体で共有。



テーマ

10年後、私(たち)が住みたい小高区をデザインしよう

グループワークや発表にあったみなさんの主な意見や考えを掲載します。

施設や居場所について

誰でも使える体育館、施設が欲しい。ダンスの練習をするとき、大きな鏡のある部屋がなく、難しかった。

大きな温泉施設があるところから大人まで人が集まる。

娯楽施設が必要。ゲームと喫茶を併せた施設があれば、こどもはゲーム、大人はコーヒーととてもいい場所になる。人が集まるためには娯楽が大事。

安心・安全について

街灯を増やして明るくすることで、まちの印象が変わる。

点在している個人病院を一か所に集めて、大きな病院にする。

病院や薬局があることで、病気がある方や移住者の方も暮らしやすい。

駅前にモールのような場所をつくったり、商店街の魅力を増やしたりするといい。観光客や住民も便利になる。

動物と触れ合える場所。特に馬と触れ合う機会、馬に関連する仕事などにも結び付く。

サッカーや陸上などのスポーツができる屋内運動場がほしい。

空き地や空き家の活用について

駅前に空き地や空き家が多い。駅前を元気のある場所にしたいな。

まちのPR・観光などについて

震災前は小高区でもマラソンがあったと聞いたので、マラソン大会を復活してほしい。

気軽に借りられる施設があるといい。勉強や宴会など、使える場所になる。

中高生が勉強できる場所など学生が過ごす場所が欲しい。

空き家をゲームセンターや飲食店、娯楽施設にする。

空き家を、小高区で作られているブルーベリーを使ったケーキなどを販売する場所にする。

小高区にシンボリックなものがあるといい。駅前に公園があるといいのかな。

小高区を知ってもらうため、お祭りや大きなイベントが必要。

南相馬市長からのコメント



ミーティングに参加してくれただけでも100点満点です。まち歩きをして、地域の方へインタビューをし、よく話を聞いて、意見交換をたくさんしてくれて素晴らしかったです。発表では、安全や空き家のこと、駅前に必要なもの、楽しい食べ物やゲームがある場所、人が集まるにぎわう場所についての意見がたくさんありました。こどもも大人もそういう場所が好きで、小高区もみんなが集まる楽しい場所になるといいという思いで、意見が出されたんだと思います。100年後の未来に繋がる大事な意見が聞けました。

前川先生からのコメント



みなさんが考えた意見を市の人たちに伝えることができたと思います。この会は、本気で南相馬市の未来を考えるための場です。市は未来のまちをつくるには、必ずこどもや若い人の意見を聞くという真剣な思いがあります。特に小高区の方々は、「自分たちのまちを自分たちでつくっていく」という思いが強いので、様々なことを吸収できたのではないのでしょうか。まちにあるものを活かして、それをうまく組み合わせることでまちの魅力が増します。南相馬市の一番の魅力は、「未来を真剣に考えるこどもたちの姿」だと思います。今年もそれを実感できました。

公益社団法人福島相双復興推進機構 皮籠石さんからのコメント



この2年間「小高区まちづくりワークショップ」を開催し、住民のみなさん(おとな)と小高区のまちづくりについて議論してきましたが、今回、こども未来ミーティングに参加したみなさんが積極的に意見を出し合い、将来のわが町小高区を真剣に考えている姿を見て大変感激しました！みなさんから出された意見は、おとなの意見と一緒に南相馬市にしっかり伝えていきます。各年代の住民の声が、まちづくりに反映されたら嬉しいですね。これからも、たくさんの意見を出して素敵な小高区をみんなで創っていきましょう。

こども未来ミーティングU8
ホームページはこちらから



オンラインで意見を伝える
「こどもLetter (レター)」
も実施中！



担当 南相馬市こども未来部こども家庭課

連絡先 0244-24-5229

E-mail kodomokatei@city.minamisoma.lg.jp